

長年の活動功績が顕彰され 滋賀県文化賞に 小林 博さん



文化活動で優れた功績のあった人に贈られる「滋賀県文化賞」を、安曇川町在住の漆芸作家 小林 博さんが受賞されました。

小林さんは、既成概念にとられない独自の技術と感性により、前衛的な創作活動を展開されている滋賀県を代表する漆芸作家で、日本現代工芸展等の審査員を務める傍ら、後進の指導や育成に尽力され、地域文化の発展に大きく貢献されています。

(社会教育課)

安曇川中学校 滋賀県駅伝大会 優勝!!

11月14日(木) 希望が丘文化公園で第64回滋賀県中学校駅伝競走大会が行われ、安曇川中学校が女子の部で初めて優勝されました。この結果を受けて、12月14日(土)・15日(日)に山口県で行われる第21回全国中学校駅伝大会への出場が決まりました。(市民スポーツ課) ※敬称略

- 1区 三宅 満星 (2年) 10分48秒② ※丸数字は区間順位
- 2区 中原 あかり (2年) 7分31秒⑩
- 3区 堤中 菜穂 (3年) 7分30秒④
- 4区 齊藤 彩佳 (3年) 7分13秒②
- 5区 澤村 真央 (3年) 10分22秒①



地域農業の担い手「椋川農産」 が全国優良経営体表彰



10月30日(水)、石川県金沢市の石川県地場産業振興センターで平成25年度全国優良経営体表彰の表彰式が行われ、有限会社 椋川農産(今津町)に全国担い手育成総合支援協議会長賞が授与されました。

この表彰は、地域農業の振興・活性化に特に顕著な

功績が認められた団体等に授与されるものです。

椋川農産は、地域農業の中心経営体としての役割を担い、地域の農家から農作業を請け負うなど互いに協力しながら、地域農業の維持発展に努めています。また、滋賀県立大学と連携した地域の知恵・技術の伝承活動や、地域の資源を利用した都市との交流事業も実施されています。(農業振興課)

交通事故ゼロを目指し、 交通安全市民大会開催



10月27日(日)にガリバーホールで平成25年度高島交通安全市民大会が開催されました。



第1部では、交通安全功労者、優良運転者、交通安全子どもの“え”作品展入賞作品、無事故無違反運動の優良事業所の表彰を行い、個人・団体の功労や優秀作品の栄誉をたたえました。第2部では、東近江市交通指導員 茶野 博子さんによる交通安全教室、陸上自衛隊今津駐屯地第10戦車大隊による「十戦太鼓」の演奏をしていただき、交通事故のない安全な高島市を願いました。

交通事故は、誰しにも起こりうる身近な問題です。悲惨な事故にあわない、あわせないためにも、家庭や職場などで交通安全について話し合ってみましょう。(交通対策課)

十八川区が、台風18号の 避難行動報告書を作成

安曇川町十八川区では、台風18号によって区民がとった避難行動を調査したものをまとめた「台風18号による避難行動特別調査報告書」を作成されました。

十八川区は、台風18号による安曇川の増水で全戸避難をされたことから、区民がどのように行動したかを検証することが、次に生かす重要な資料になると考え、今回、全戸を対象に調査を実施。報告書からは、区民の危機意識の醸成や水防倉庫の設置など、安全・安心を確保するための多くの課題がみえてきました。この報告書を基に、検討を加え、区の避難行動マニュアルの策定に生かすとのことです。(企画広報課)



平田さん、日本拳法大会 で優勝!!

10月6日(日)に吹田市で行われた第39回日本拳法龍峰杯優勝大会で平田展康さん(今津町在住)が壮年II部において見事、優勝されました。(市民スポーツ課)



台風18号の復旧経過



気がつけば師走を迎える頃になり、この一年間は私にとりまして本当に激動の一年でした。とりわけ数十年に一度の降雨量と言われた台風18号による災害対応は、忘れることはできません。

川のほか55河川の堤防強化対策につきましても要望しています。さらに、この台風による農業被害が国の「激甚災害」指定を受けたことから、農林水産省による災害査定が11月11日から、被災箇所ごとに行われています。この結果により、農地や農業施設の復旧につきましても、国の財政支援を受けながら、年明けに順次復旧が進む予定です。

市長雑記

この台風で堤防が決壊した鴨川については、9月中旬に仮復旧が完了しておりますが、河川管理者である県に対し、単に崩壊した箇所を復旧工事ではなく、一層の安全対策を要望し、4〜5年をかけて恒久的な改良工事を行うとの回答を得たところです。

また、安曇川堤防の欠損部分はもちろん、石田川や百瀬川のほか55河川の堤防強化対策につきましても要望しています。さらに、この台風による農業被害が国の「激甚災害」指定を受けたことから、農林水産省による災害査定が11月11日から、被災箇所ごとに行われています。この結果により、農地や農業施設の復旧につきましても、国の財政支援を受けながら、年明けに順次復旧が進む予定です。

福井正明